

第44回卒業式

3月15日(火)に新生海星中学校となり初めての卒業式が挙行政され、3年生13

名一人一人に卒業証書が手渡されました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間短縮、国歌・校歌は演奏のみ、卒業記念合唱も中止となり、歌声のない卒業式となりました。

在校生を代表して、中村朱羽優さんが「先輩方とはとにかく優しく、おもしろくて、いつも僕たちを笑顔にしてくれました。落ち込んでいるときも、すぐに気づき、励ましてくれて、頼ってばかりでした。先輩方のように海星中学校を引っ張っていけるか不安ですが、これまでの伝統をしっかりと守り、後輩たちに受け継いでいきます。海星中学校は、僕たちに任せてください。」と強い決意を感じる送辞を述べました。その後、卒業生を代表して、中森公貴さんが、「海陽中学校と統合し、人数も増え、全ての行事が、統合後初という中で思い出に残るものとなりました。今年、オリンピックが開催された年でもありました。受験勉強をしながら、くじけそうな時、明るい未来を想像し自分にエールを送りながら頑張ってきました。奇しくも3年後、私たちが高校3年生の夏には、パリオリンピックが開催されます。3年後それぞれの場所で、夢に向かって挑戦し続けている自分たちでありたいと願います。」と未来を見据えた力強い答辞で締めくくりました。最後には、3年生一人一人が「島立ちの決意」を発表しました。それぞれが家族、後輩、先生方に感謝の言葉を述べ、未来への強い決意を感じる発表となり、会場全体が感動の渦となりました。

新型コロナウイルス感染症のため、多くの学校生活で制限がある中で中学校生活でしたが、卒業生の成長した姿に、目頭が熱くなりました。統合後初となる卒業生を送るにふさわしい式となりました。



立志式

2月22日(火)に2年生を対象に立志式を行いました。14歳を迎えるにあたり、自分の将来の目標や夢を明確にし、その誓いを立てるとともに、保護者や周りの人への感謝の気持ちを新たにす機会と捉え、事前学習から式当日まで取り組みました。

立志式では、生徒がこれからの目標とする「座右の銘」を掲げ、決意の言葉を発表しました。その後、保護者か

ら我が子へ激励の言葉をかけてもらいました。最後には、ハンドベルで記念演奏を行い、自分の将来について考えるとともに、親子の絆を深め、感動あふれる式となりました。



性に関する指導

3月2日(水)に1年生で性に関する指導「SNSを通じた出会いの危険性」というテーマで授業を行いました。



文科省の動画教材を活用し、SNSを通じた出会いの危険性を知り、被害を防止する方法をグループで考えました。「主人公が危険な目にあわないための具体策」及び、「知らない人を信じてしまった理由」の2つの視点で思考をめぐらせました。知らない人でも、同じ趣味や話しが合う人、優しくしてくれる人は信じやすくなってしまいがちですが、だますために「いい人」を演じている人がいるということを考えることができました。

個人情報や体のプライベートゾーンを大切に被害の未然防止に努めることを第一に、困ったときには信頼できる大人に相談することを忘れずに過ごしてほしいと思います。

【生徒の感想】

○自分を守るために、「教えない」ということをしっかり頭に入れてたい。断ることも大切だし、リスクも考えて判断しなければならぬということに気が付いた。自分の写真や個人情報を守って、人をしっかりと見分けられるようにしたい。

○SNSは便利な分、危険なこともあることが分かった。名前や住所などの個人情報や自分の写真を知らない人には絶対に送らないようにしたい。SNSで相手が友達になりたいといっても、簡単に信頼してはいけないことが分かった。

月	日	曜	主な行事予定(変更の可能性あります)
4	6	水	新任式 始業式 第45回入学式(午後)
	7	木	標準学力検査 学校生活オリエンテーション PTA理事会
	8	金	標準学力検査 知能検査 身体測定 生徒会対面式
	11	月	家庭学習・生活リズムチェック週間~17日
	19	火	全国学力学習状況調査(3年生) 内科検診
	21	木	心電図検査(1年生)
	22	金	交通安全教室
	25	月	授業参観 PTA総会 学級PTA PTA専門部会
	26	火	避難訓練(火災)
	27	水	生徒総会

さようなら「令和3年度」 こんにちは「令和4年度」

校長 下中 諭



海星坂の桜にも、ようやくの花芽がつき始めました。昨年度は2月中頃にはウグイスも鳴き始め、3月末には桜の花が咲き誇っていました。今年例年通りの春を迎えているようです。

先日、第44回卒業式を無事に終えました。海陽中学校の休校により手打、子岳の生徒が海星中学校に通

うようになり、初めての卒業式となりました。13人の卒業生が海星中学校を旅立っていったのですが、コロナ禍の中で縮小した卒業式で開催いたしました。今年度の卒業式は海陽中で行っていた「卒業生の決意」を会順の中に入れ、生徒一人一人がそれぞれの決意を保護者に向けて述べる機会を設けました。卒業生は保護者への感謝の気持ちを忘れずに、立派な発表をし、島立ちに向けて意識を高めるものとなりました。

そして、いよいよ3月末を迎え、令和3年度を終える頃になりました。令和3年度もコロナ禍の中での学校生活でしたので、行事、部活動ともに様々な制約がありました。ただ3月のまん延防止等措置の解除の頃から、社会的にも様々なことについて制限が緩和されるようになってきました。感染防止をしつつ、社会活動はしっかりと行っていこうとする方向性は、4月から令和4年度を迎えるにあたり、明るい材料ではないかと思われま

さて、令和4年度はどのような1年になるのでしょうか？コロナ禍も落ち着きつつ、感染防止対策はしっかりと行っていくことをベースに、人流制限などが緩和されつつ社会制限をみながら、学校生活を送っていくことになるでしょう。少し明るい兆しが見えてきたように思えます。

令和4年度には新入生が6人入学し、24人の生徒で海星中学校がスタートします。また、職員も大きく変わります。令和3年度よりも生徒数が9人減りますが、24人の生徒とともに新たな学校の雰囲気の中で、明るく、活気があり、一人一人の生徒を大切にしたいと願っています。

どうぞ令和4年度がよりよい1年となりますように、保護者、地域の皆様、御協力をよろしくお願いいたします。

